

# 景況調査

(平成30年1月～平成30年3月期)

平成30年1月～3月期の山企業景況調査の結果は、次の通りである。調査結果はDI指数(景気動向指数)を用いて示している。

平成30年1月～3月期の調査結果では、業況、売上高、採算の3指標の数値が上昇した。

## 〈業況〉

業況DIは3.3で前回調査の▲3.4から6.7ポイント上昇した。業種別では、小売業0.0(前回調査比±0)、製造業8.3(前回調査比▲1.7)、建設業10.0(前回調査比+10.0)、サービス業0.0(前回調査比23.5)、卸売業0.0(前回調査比▲20.0)と建設業、サービス業が上昇した。4月～6月期見通しは全体で▲3.4であり、低下の見込である。

## 〈売上高〉

売上高DIは23.0で前回調査より9.7ポイント上昇した。業種

別では、小売業29.4(前回調査比+23.1)、製造業25.0(前回調査比▲20.5)、建設業20.0(前回調査比+20.0)、サービス業11.8(前回調査比+17.7)、卸売業40.0(前回調査比▲20.0)であり、小売業、建設業、サービス業の3業種は上昇した。4月～6月期見通しは全体0.0となり、低下の見込である。

## 〈採算(経常利益)〉

採算(経常利益)DIは0.0で前回調査より5.1ポイント上昇した。業種別では、小売業5.9(前回調査比+5.9)、製造業▲8.3(前回調査比▲26.5)、建設業10.0(前回調査比+19.1)、サービス業▲11.8(前回調査比+17.6)、卸売業20.0(前回調査比±0.0)で小売業、建設業、サービス業が上昇し、卸売業が横ばい、製造業は低下であった。4月～6月期見通しは全体で▲6.7であり低下の見通しである。

## 〈資金繰り〉

資金繰りDIは1.8で前回調査から7.0ポイント低下した。業種別では小売業▲6.3(前回調査比▲25.1)、製造業0.0(前回調査比▲10.0)、建設業20.0(前回調査比+1.8)、サービス業0.0(前回調査比+6.7)、卸売業0.0(前回調査比±0.0)であった。

## 〈その他の意見〉

- 個人消費を伸ばす政策実現に期待したい。
- 2020年のオリンピック後の経済対策が見えてこない(需要喚起等)ので、その後の景気が不安。
- 消費者の節約姿勢は顕著で、1円でも安く手に入れようとしている。
- 高齢者にもインターネットをやる人が増え、ますます孤立していく人々が増え、社会問題化すると思う。

